

## コニカミノルタの中国における2つの生産拠点(無錫と石龍)が

### 「ゼロエミッション」を達成

2007年4月5日

コニカミノルタグループの中国における複合機・プリンタの2つの生産拠点(無錫工場と石龍工場)は、このたび「生産拠点における排出物の再資源化、埋め立て廃棄物の最少化、再資源化による利益の創出」を目指す「ゼロエミッションレベル1」\*を達成いたしました。

コニカミノルタの最新の複合機生産拠点である無錫工場は、2005年10月に操業開始した当初から、ゼロエミッションの目標値を達成することを前提に循環型社会への対応を進めてまいりました。例えば、社内での徹底した分別などによる再資源化活動の実践や、適正に再資源化できる業者を日本と同じ基準で評価するなど、操業開始から継続しております。その結果、再資源化率が94.4%、最終処分率が3.5%、費用については外部支払い費用の37倍の利益を創出いたしました。

また石龍工場では、1999年のISO14001認証取得活動開始より、廃棄物削減活動を進めており、同工場で成形している樹脂端材の再利用、納入メーカーからのダンボールのプラスチックバケツ化による通箱化、生産活動における徹底したロス削減などを実施することにより、再資源化率が99.9%、最終処分率が0.1%、費用については外部支払い費用の55倍の利益を達成いたしました。

中国で国家を挙げて推進中の第11次五カ年計画(2006年～2010年)においては、工業固形廃棄物の再資源化率を60%以上にするを国家目標としていますが、両生産拠点では、この目標を大幅にクリアしたことになります。

コニカミノルタの中期経営計画「FORWARD 08」では、「グローバルに通用するCSR経営の推進」を基本方針の1つに掲げ、信頼される企業として、経済面に加え社会面/環境面でのグローバル展開の強化による企業価値の持続的向上を目指しています。この基本方針のもと、グループ環境中期経営計画の循環型社会への対応においては、2008年度までにアジア全生産拠点でゼロエミッションレベル1を達成するという目標を掲げています。今回、中国の2拠点で達成いたしました。2007年度は大連をはじめ他のアジア拠点でもゼロエミッションを推進してまいります。

\* コニカミノルタにおけるゼロエミッション活動には、レベル1とレベル2があり、レベル1の目標は、「再資源化率90%以上」、「再資源化後の残渣も含め最終処分率5%以下」、さらに「継続性のある活動とするために費用に対する目標値を設定しており、その目標は、外部に支払った費用よりも再資源化などによる利益が大きいこと」としています。レベル2では、「2001年度を基準として売上高あたりの外部排出物量30%以上削減」を目標としています。ゼロエミッションの達成基準は、この目標値を3ヶ月以上継続させるとともに、環境専門部門が目標達成状況を監査した上で、環境担当役員が現地での取り組み状況を確認し、達成の可否判断を行なっています。

---

本件に関するお問い合わせ先  
コニカミノルタホールディングス株式会社 広報グループ 小木曾  
TEL: 03-6250-2100